



## 骨粗鬆症・股関節外来

### 第2・4週木曜日 午前診

白庭病院では整形外科治療の一層の充実を図るべく、骨粗鬆症・股関節治療分野でご活躍されておられます高岡 邦夫名誉教授による「骨粗鬆症・股関節外来」をご案内申し上げます。

病院長 松下 宗嗣

たかおか くにお

高岡 邦夫 名誉教授



- ・医学博士
- ・日本整形外科学会専門医

#### 【職務経歴】

昭和 43 年 3 月	大阪大学医学部卒業
昭和 43 年 4 月	大阪大学医学部附属病院 研修医
昭和 45 年 7 月	大阪大学医学部整形外科入局
昭和 46 年 1 月	国立白浜温泉病院整形外科 勤務
昭和 46 年 7 月	大阪厚生年金病院整形外科 勤務
昭和 47 年 7 月	(財)住友病院整形外科 勤務
昭和 51 年 1 月	大阪大学医学部整形外科研究生
昭和 52 年 8 月	大阪大学医学部整形外科助手任官
昭和 56 年 7 月	” 講師
平成 2 年 1 月	” 助教授
平成 7 年 8 月	信州大学医学部整形外科教授
平成 14 年 4 月	大阪市立大学大学院医学科整形外科教授
平成 21 年 4 月	大阪市立大学大学院医学科整形外科名誉教授

#### ※受賞歴

第2回日本骨代謝学会「学会賞」(1986)  
 Zimmer賞 受賞(1988)  
 第1回日本整形外科学会「学術奨励賞」受賞(1991)  
 整形災害外科学研究助成財団「マルホ賞」受賞(1994)  
 第4回日本整形外科学会「学術奨励賞」受賞(1994)  
 Best Paper Award : International Society for Fracture Repair (1994)  
 第1回整形災害外科学研究助成財団研究助成基金受賞(1984)  
 公益法人加藤記念難病研究助成基金受賞(1988)  
 第7回整形災害外科学研究助成財団研究助成基金受賞(1990)  
 日本股関節研究振興財団研究助成基金受賞(1992)  
 上原記念生命科学財団研究助成金受賞(1994)  
 整形災害外科学研究助成財団「アルケア賞」受賞(2001)  
 平成17年度骨代謝学会特別賞(2005)  
 日本骨粗鬆症学会賞(2005)  
 上原記念生命科学財団研究助成金受賞(2007)  
 大阪市長賞(2007)  
 大阪医学会賞(2007)

#### ※所属学会及び役職

日本骨代謝学会理事、学会賞選考委員、在り方委員会委員(2002-2004)  
 第25回日本骨代謝学会学術集会会長  
 日本バイオマテリアル学会理事(2002-2004)  
 日本骨粗鬆症学会理事  
 第10回日本骨粗鬆症学会学術集会会長  
 日本股関節学会理事  
 中部日本整形災害外科学会評議員、編集委員会委員  
 第106回中部日本整形外科災害外科学会学術集会会長  
 日本結合織学会評議員  
 第35回日本股関節学会会長  
 日本組織工学会評議員  
 国際整形外科災害外科学会(SICOT)正会員  
 アメリカ合衆国骨代謝学会(ASBMR)正会員  
 国際骨循環学会(ARCO)正会員  
 New York Academy of Sciences 正会員

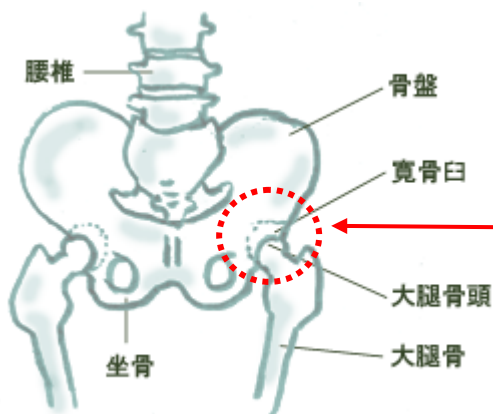


## 変形性股関節症とは、 どんな病気でしょうか。

股関節(こかんせつ)は上半身と下半身の継ぎ目。上半身の重さを支える股関節は負担が大きく傷みやすい関節です。中高年になると足の付根のあたりに痛みを感じる人が増えてきます。歩いたり座ったりすることにも支障が出て、日常動作がとても辛くなります。

### 変形性股関節の主な症状

1. 初めは運動後や長く歩いた後などに、お尻や太もも、ひざの上などに鈍痛が出る  
ことが多く、この痛みは数日すると治まります。
2. 少し症状が進むと、動き出すときに股関節辺りに痛みを感じるようになります。
3. さらに進むと歩くと股関節の前後が痛む、一休みしないと歩けない、などの痛みが  
出るようになります。
4. 最終的には安静にしているでも痛むようになり、痛みの程度も段々と強くなります。
5. 痛みが強くなるにつれて、靴下が履きにくくなったり大きな段差が上りにくくなっ  
たりと、股関節の動きも悪くなってきます。
6. 痛みのために活動量が減って中殿筋などの筋力が衰えると悪い方の足をついたときに身体が傾くため、  
肩を揺らして足を引きずるような歩き方「跛行(はこう)」になります。



**原因は、関節軟骨がすり減ることで発症します。**

衝撃を吸収し関節を滑らかに動かす役割が関節軟骨です。これが何らかの理由によりすり減り壊れることで「変形性股関節症」が起こります。

関節症は体重のかかる関節に起きやすく、過度の負荷が繰り返し加えられたり、外傷などによって軟骨は変性しすり減ります。加齢とともに軟骨のクッション性や修復能力も衰えていくので変性がより起きやすくなります。